

Members

氏名 パート
入団年 居住地

a: 今日のステージで一番好きな曲はどれ? その理由も
b: 今度生まれ変わったら男女どちらがいいか? その理由は

c: あなたが今一番ハマっていることは何?

土屋 和幸 Tenor 2005年 富田林市

a: ジョスカンのアヴェ・マリア
はじめてこの曲を聴いて、この分野の音楽に傾倒しはじめたから
b: 男
なんとなく
c: 沖縄三線



山内 要 Bass 2008年 八尾市

a: ルネッサンスの宗教曲もいいし、イギリスのマドリガルもいいし、フランドルもいいけど、やっぱり最後に歌う予定のアンコール曲かな?
これを歌い終わったら、美味しいビールを飲めるから。
b: そりゃ、男です。
男声合唱が出来るから。
c: 今、という訳じゃないけど、このところず〜と東京の落語にハマっています。6/19柳家小三治・柳家三三 7/9春風亭昇太 7/28三遊亭小遊三・柳亭市馬・林家たい平 9/29市馬・柳家喬太郎・三三・三遊亭兼好…



南原 克行 Bass 2003年 芦屋市

a: モテットをはじめ井上先生の指導される曲は全て好きです。
b: 今、すばらしく素敵なお女性達と一緒に歌えるのは男だからです。生まれ変わっても男です。また一緒に。
c: みんなに喜んでいただけるモノの言い方。



近藤 真 Bass 創立メンバー 伊丹市

a: あえて選ぶなら、Fine Knacks・・・
明るく リズミカル などところでしょうか
b: 男
特に決めてとなる理由はございませんが
c: ラジオでNHKの深夜便



神垣 忠幸 Bass 1993年 西宮市

a: 3st.7曲目Nuffelの「AVE MARIA」と3st.終曲の「AVE VERUM」
悲しみも愛しさも切々と歌いつなぐメロディがたまりません。
b: 女性です
三食昼寝付きエステ通いを満喫したい。
c: 最近はランニングとフットサルに使う時間が減り、運動不足気味。歌う時間は増えてるんだけど。ん、何の質問だっけ? そうそう、認知症の病的な物忘れを改善するサプリメントの普及にハマってます。



井上 一朗 Conductor 創立メンバー 伊丹市

a: 選曲は産みの苦しみ。どの曲も可愛い“わが子”で、優劣つけがたいです。
b: 残念っ! この世に生まれかわることは出来ません。お浄土に往きますから。
c: 今年のクリスマスコンサートのための編曲。「Frosty The Snowman」を考え中。



なぜフランドル・・・

昭和47年でしたか、合唱連盟のコンクールのために「選択曲集」という名の課題曲集が発行されました。以来「合唱名曲シリーズ」という名で毎年発行されているこの曲集は、ルネッサンスもの、邦人作品、ドイツロマン派〜ヨーロッパ近代…という三種類の選択肢が踏襲されてきました。この「ルネッサンスもの」にかなりの確率で採用されてきたのがフランドル楽派の曲でした。「ルネッサンスものはうっかり手が出せない…」「たいてい邦人かロマン派を選んでしまう…」という状況は今も続いています。そこで「コンクールに勝つにはフランドルの宗教曲が有利」という、いわば「非常に醜い下心」を動機として、井上は1986年フランドルの作品へのアプローチを徹底するための試作アンサンブルとしてヘーメルスを立ち上げました。

色んなアプローチを模索する間に、井上は、ラテン語の歌詞とメロディーの密接な関係が日本語の歌では考えられないような美しい法則性を持っていることに魅かれていきます。それはパレストリーナより前にフランドル人たちによって整備され方向付けられていたものです。ここで当然出てくる疑問は「フランドルの作曲家たちが日常しゃべっていた言葉の曲はどんなものか?」でした。

ベルギーフランドル交流センターでネーデルランド語を3年間習い、その教室の仲間がベルギーへ行くと聞けば「楽譜を買ってきて」と頼み、地元伊丹市と姉妹都市であるベルギーハッセルト市の合唱団や吹奏楽団と交流し、指揮者と友達になり……

おかげさまで、あらゆるつてを頼って得られた楽譜が「Groot Vlaams Lied Boek(偉大なフランドル歌曲集 150曲)」「De Monte Koorboek (デ・モンテ合唱曲集 50曲)」「ANZ Koorblad (全ネーデルランド合唱連盟編合唱ピース 200曲)」などです。

宗教曲は、以前フランドル交流センターにあった故ロベルトヴリーゲン先生の蔵書や Chester 版のモテット集などから選んできたものですが、フランドル民謡はこちらで四声体で編曲する必要があります。この編曲作業の合間に、スタンダードジャズソングなどを編曲して井上が頭休めをしていたものが、時々お聴きいただいているクリスマスソングや軽いジャズナンバーです。

フランドル民謡、恋の歌、宗教的世俗曲、意欲的な近代曲、ふざけた軽音楽…などなど、ヘーメルスはネタになる楽譜だけでなく、歌い手の人材にも恵まれています。

そ〜〜んなわけで、これからも色々な珍しい作品、楽しい作品をお聴きいただけたらと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

井上 一朗